



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

月例調査レポート



ツーチンジャン

紫金山・アトラス彗星

2023年1月に中国・南京市にある紫金山天文台で発見されたこの彗星。肉眼でも見えるのでは？と大いに期待されていましたが、10月の中旬、実際に肉眼で見える彗星となり、連日ニュースなどで報道されました。天文ファンならずとも観察された方も多かったことでしょう。軌道の関係でもう二度と戻ってこないこの彗星。一期一会の出会いとなりました。

(10月20日、飯綱高原で撮影)

- 長野しんきん
月例調査レポート…………… 2
- 企業アンケート
「カスタマーハラスメント」② …… 6
- インタビュー
変革期の経営ビジョン …… 8
- 北信濃
明治時代の風景 (32) …… 10
篠ノ井小松原



長野信用金庫

概況 全産業

生産は2カ月ぶりの低下 前年同月比は2カ月ぶりの低下

◇2024年8月の長野県鉱工業指数

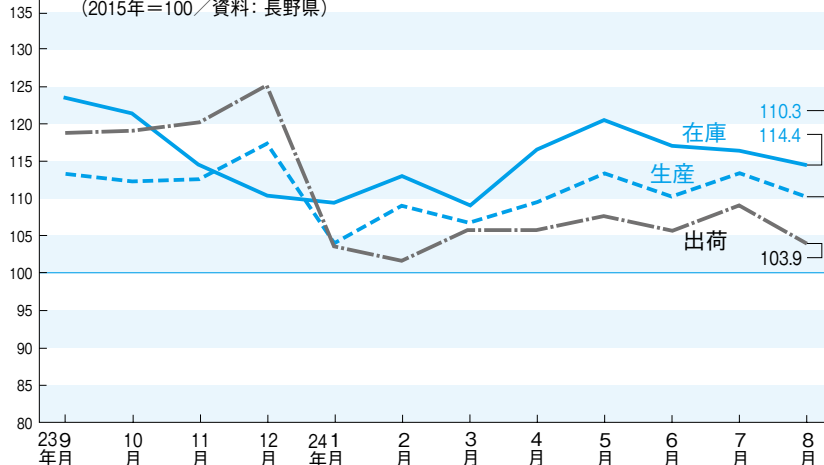
(速報：季節調整済指数)

生産は110.3(前月比▲2.5%)で2カ月ぶりの低下、出荷は103.9(同▲4.6%)で2カ月ぶりの低下、在庫は114.4(同▲1.5%)で3カ月連続の低下となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は98.5(前年同月比▲5.3%)で2カ月ぶりの低下、出荷は95.2(同▲6.6%)で2カ月ぶりの低下、在庫は113.1(同▲6.1%)で9カ月連続の低下となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)



[生産] 上昇…窯業・土石製品、運送機械、プラスチック製品など5業種

低下…情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械、食料品など12業種

[出荷] 上昇…輸送機械、鉱業の2業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、化学、食料品など15業種

[在庫] 上昇…化学、窯業・土石製品、プラスチック製品など8業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、電気機械など8業種

月例調査

全産業の「売上高」は増加

前回調査 2024年8月

◇10月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年同月比は、増加した企業が31%、不変が45%、減少

が24%となりました。8月調査時に比べると増加が3割増、不変が2割増、減少が4割減となり全体として増加の状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↗ 増加 → 不変 ↘ 減少
🔄 改善 ⇄ 不変 📉 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回			今回	改善	悪化
	増加	不変	減少			
前	28.2	43.6	28.2			
回						
今	増加 31.1	不変 45.1	減少 23.8			
回						
製造業	40.6	37.7	21.7			
建設業	23.4	46.9	29.7			
卸小売業	26.3	57.9	15.8			
サービス業	40.0	40.0	20.0			
輸送業	11.1	33.3	55.6			
外食業	50.0	50.0	0.0			

182社(回収率82.7%)
30人未満 73.6%
30人以上 26.4%

193社(回収率87.7%)
30人未満 72.0%
30人以上 28.0%

69社(回収率88.5%)
30人未満 66.7%
30人以上 33.3%

64社(回収率92.8%)
30人未満 82.8%
30人以上 17.2%

38社(回収率80.9%)
30人未満 76.3%
30人以上 23.7%

5社(回収率71.4%)
30人未満 80.0%
30人以上 20.0%

9社(回収率100.0%)
30人未満 33.3%
30人以上 66.7%

8社(回収率80.0%)
30人未満 50.0%
30人以上 50.0%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」一般機械が減少するも、全体は増加

製造業の生産高前年同月比は、増加した企業が41%、不変が38%、減少が22%となりました。8月調査時に比べると増加が20ポイント増、不変が7ポイント減、減少が12ポイント減となり全体として増加の状況です。

●生産高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

製造業	前回	21.0	45.1	33.9
	今回	増加 40.6	不変 37.7	減少 21.7
食料品		60.0	33.3	6.7
金属加工		57.1	21.5	21.4
一般機械		11.1	66.7	22.2
電気機械		57.1	28.6	14.3
自動車部品		40.0	20.0	40.0
精密機械		33.3	33.3	33.3

【業種別】 増加…食料品・金属加工・電気機械・精密機械
横ばい…自動車部品
減少…一般機械

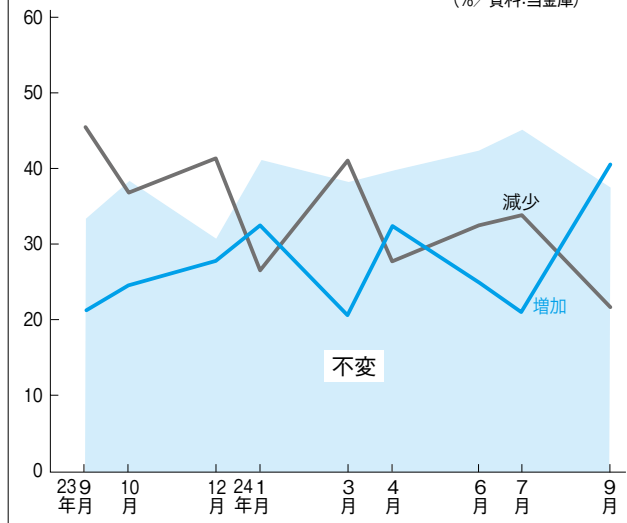
【機械稼働】 上昇企業の割合 (25%) → 19%
低下企業の割合 (10%) → 13%
機械稼働状況(前回比) 下降
機械稼働率 (75%) → 80%

【受注状況】 増加企業の割合 (20%) → 23%
減少企業の割合 (8%) → 17%
受注量(前回比) 下降
受注残高(2.0ヵ月) → 2.3ヵ月

【受注基調】 上昇企業の割合 (20%) → 22%
低下企業の割合 (12%) → 16%
(前回比) 下降

●生産高前年同月比「増加・不変・減少」割合の推移

(%/資料:当金庫)



企業からのコメント

☆受注は安定基調で今後も変わらずの見通し。各自動車メーカーが共に、EVやハイブリッド車へのシフトを加速させている。(自動車部品)

☆生産減少が底をついて増加基調に転じてきた。半導体関連でも川上の産業が動き始めてきたとの情報もあり、次第に川中、川下の企業も動いてくると思う。(精密板金加工)

★観光地への入込み客は、少し落ち込んでいる様子で、消費動向は良くない。(そば)

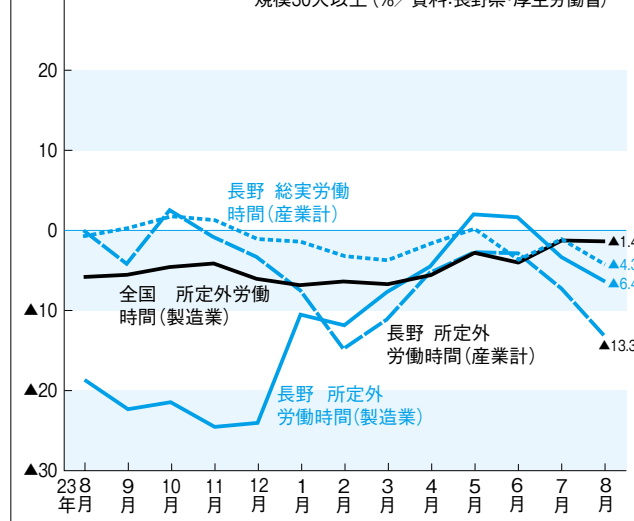
☆秋向け食材の受注が増加している。また、秋に収穫する食品材料の来年度使用量の新規予約も増加している。(業務用食品)

★海外(米国・中国等)の経済状況が不安定な影響から受注が安定せず、先行き不透明である。

(輸送機器部品)

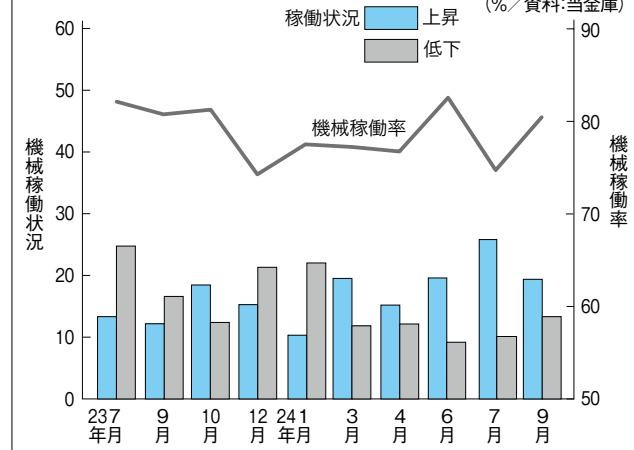
●長野県の労働時間の動き<前年同月比>

規模30人以上(€/資料:長野県・厚生労働省)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移

(€/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」建築が増加するも、全体は減少

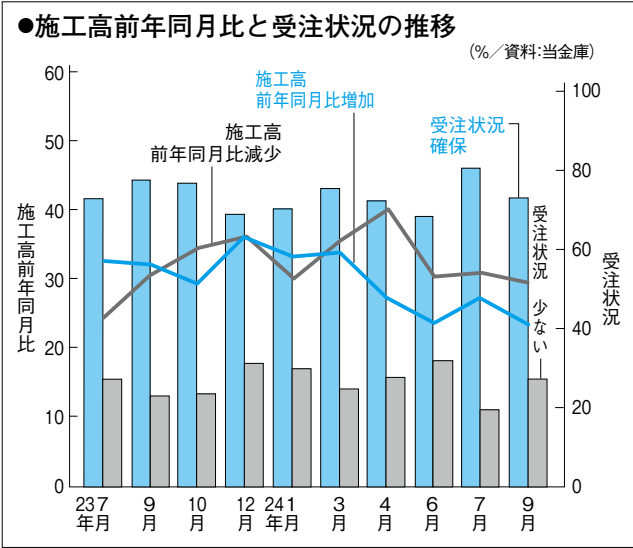
概況

建設業の施工高前年同月比は、増加した企業が23%、不変が47%、減少が30%となりました。8月調査時に比べると増加が4割減、不変が5割増、減少が1割減となり全体として減少の状況です。

●施工高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

建設業	前回	27.4	42.0	30.6
	今回	増加 23.4	不変 46.9	減少 29.7
総合建設業		25.0	62.5	12.5
土木工事業	7.7	46.1	46.2	
建築業	30.4	56.6	13.0	
各種設備業	27.3	27.2	45.5	

【業種別】増加…建築
減少…総合建設・土木工事・各種設備
【受注状況】「多い・適正」企業の割合（80%）→73%
「少ない」企業の割合（20%）→27%
受注高月商倍率（3.2カ月）→3.5カ月



企業からのコメント

- ★長期金利が上がったと同時に、土地の引き合いが無くなった。安い土地の引き合いはあるが、土地建物合計がそれなりの価格になると、皆が考えてしまうようだ。(総合建設業)
- ★コロナの時は、どんどん新築住宅が建っていましたが、今は落ち着いてしまって好況感はない。(一般建築)

4～9月の公共工事（東日本建設業保証取扱分）

長野県の4～9月の発注合計は、1,673.8億円（前年同期比+16.8%）となりました。前年比プラスは「市町村」の471.5億円（同+16.1%）、「そのほか」の585.2億円（同+59.8%）、マイナスは「国」の192.1億円（同▲13.4%）、「県」の420.8億円（同▲3.5%）でした。

北信地区市町村の発注合計は138.8億円（同▲13.8%）で、うち長野市は64.0億円（同▲14.9%）でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2024年9月/2024年4月～9月累計)
(単位=百万円／資料: 東日本建設業保証株)

		2024年9月	前年同月比	2024年4月～9月	前年同期比
長野県	国	1,103	▲60.8%	19,208	▲13.4%
	県	2,949	▲33.2%	42,082	▲3.5%
	市町村	7,879	+30.8%	47,151	+16.1%
	そのほか	1,461	+105.6%	58,523	+59.8%
	合計	13,408	▲3.9%	167,380	+16.8%
北信地区	市町村	3,833	+29.9%	13,883	▲13.8%
	(内長野市)	811	▲34.5%	6,401	▲14.9%

4～9月の新設住宅着工戸数

長野県の4～9月の新設住宅着工戸数は5,911戸（前年同期比▲1.8%）でした。持家が3,245戸（同▲3.3%）、貸家が1,644戸（同▲3.5%）、分譲が994戸（同+10.4%）、給与が28戸（同▲53.3%）です。

北信地区の4～9月の新設住宅着工戸数は1,448戸（同▲13.5%）でした。持家が843戸（同▲7.6%）、貸家が438戸（同▲14.5%）、分譲が165戸（同▲33.2%）、給与が2戸（同▲33.3%）です。

●長野県と北信地区の新設住宅着工戸数
(2024年9月/2024年4月～9月累計) (資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
長野県	9月	530戸	276戸	95戸	4戸	905戸
	前年同月比	+7.7%	▲12.1%	▲12.8%	▲92.3%	▲6.4%
	4～9月	3,245戸	1,644戸	994戸	28戸	5,911戸
	前年同期比	▲3.3%	▲3.5%	+10.4%	▲53.3%	▲1.8%
北信地区	9月	162戸	67戸	22戸	0戸	251戸
	(内長野市)	110戸	55戸	19戸	0戸	184戸
	前年同月比	+35.0%	▲38.0%	+15.8%	——	+1.6%
	(内長野市)	+69.2%	▲9.8%	+90.0%	——	+35.3%
	4～9月	843戸	438戸	165戸	2戸	1,448戸
	前年同期比	▲7.6%	▲14.5%	▲33.2%	▲33.3%	▲13.5%

卸小売業

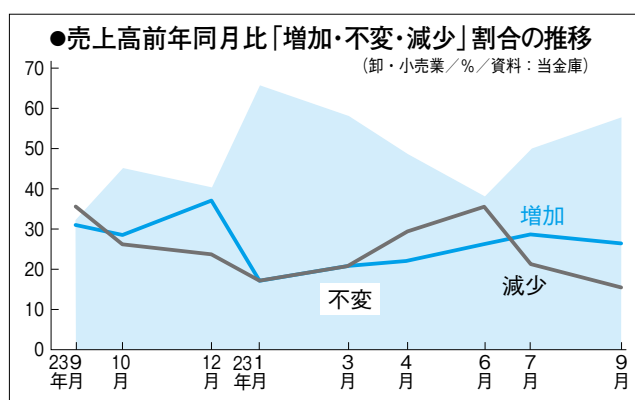
卸売業、小売業

「売上高」小売が増加、卸売が減少

卸小売業の売上高前年同月比は、増加した企業が26%、不変が58%、減少が16%となりました。8月調査時に比べ増加が3割減、不変が8割増、減少が5割減となり全体としては横ばいの状況です。

●売上高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

卸小売業	前回	28.9	50.0	21.1
	今回	増加 26.3	不変 57.9	減少 15.8
卸 売 業		20.0	73.3	6.7
小 売 業		30.4	47.9	21.7



【業 種 別】 増加…小売業 減少…卸売業

9月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……110.6(前月比▲0.6)

(前年同月比+2.9%)(37カ月連続プラス)

上昇…「被服および履物」「住居」「食料」「諸雑費」
「保健医療」

下落…「光熱・水道」「教養娯楽」「家具・家事用品」

◇生鮮食品を除く総合指数…109.9(前月比▲0.7)

(前年同月比+2.7%)(38カ月連続プラス)

企業からのコメント

★残暑が厳しかったため、秋物の動きが弱かった。

(衣料品小売)

☆★消費者が地域の特産品を買うという習慣が薄れてきた。自分用に気に入ったものがあれば高くても買う。全体的に無駄使いはしない。

(土産品小売)

☆★コタツ用品の出荷が始まったが、撤退するメーカーが複数あり、多少悪い影響が出るものと思われる。

(寝具卸売)

★秋になっても夜の気温が高い日が続いたため、りんごの色付きが悪い。

(青果卸売)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービス・輸送・外食はともに減少

サービス業 売上高前年同月比は、増加した企業が15割増の40%、不変が35割減の40%、減少が20割増の20%で、全体として減少の状況です。

輸送業 売上高前年同月比は、増加した企業が33割減の11%、不変が11割増の33%、減少が22割増の56%で、全体として減少の状況です。タクシー、運輸はともに減少です。

外食業 売上高前年同月比は、増加した企業が33割減の50%、不変が33割増の50%、減少が横ばいの0%で、全体として減少の状況です。

観光(旅館)業 入込数は前月比27%減少、前年同月比でも11%減少しています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は10割減少の57%、「引合いやや増加」は29%増加の29%でした。

企業からのコメント

☆空き家、そして終活に絡む相談が増えている。また、不良債権処理物件も多くなってきた。

(不動産)

☆★運賃の値上げ分が人件費の増加で消えてしまい、利益に結びつかない状況。

(運送業)

☆★8月は長野市内でイベント等が多く開催され、売上がやや増加した。しかし、9月に入りやや落ち込んでいる。

(タクシー)

●売上高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

サービス業	前回	25.0	75.0	0.0
	今回	増加 40.0	不変 40.0	減少 20.0
輸送業	前回	44.4	22.3	33.3
	今回	11.1	33.3	55.6
うちタクシー業		0.0	100.0	0.0
うち運輸業		14.3	42.8	42.9
外食業	前回	83.3	16.7	0.0
	今回	50.0	50.0	0.0

カスハラを受けた企業の「カスハラの形態」

「電話」と「対面」が6割超

カスハラのきっかけとなった「具体的な理由」

「商品やサービスのミス」と「顧客の勘違い」が5割弱

アンケート
「カスタマーハラスメント」②
2024年9月調査

【本調査におけるカスタマーハラスメント（以下、「カスハラ」という。）の定義】 顧客・取引先等からの職場環境が害されるレベルの不当要求のこと。自社側に落ち度がないにもかかわらず金品等を要求されたり、落ち度があっても脅迫や威嚇、暴行などを用いて非常識かつ不当な要求を受けること。

カスハラを受けた「形態」

前号で、「カスハラを受けたことがあると答えた33%の企業の方に、その形態」を聞きました。

「電話」がトップで65%、次に「対面」61%、「メール」11%、「SNS」7%、「文書」4%となりました。

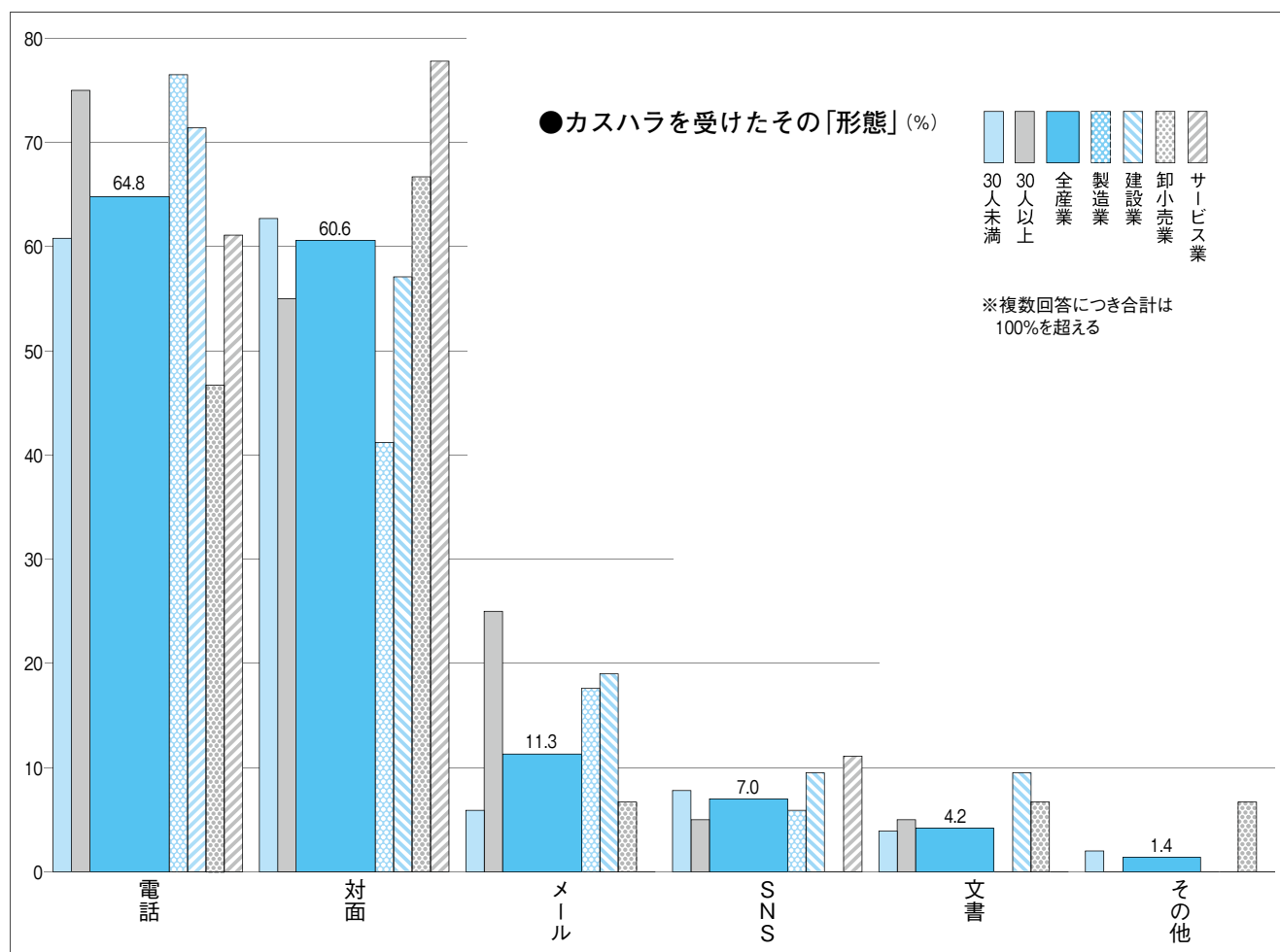
従業員規模でみると、30人未満は30人以上より「対面」が8割高く63%です。30人以上は30人未満より、「電話」が14割高く75%、「メール」が19割高く25%となっています。

業種別

製造業 「電話」（77%）は4業種の中で最も高く、他方「対面」（41%）、「文書」（0%）は4業種の中で最も低くなっています。

建設業 「メール」（19%）、「文書」（10%）は4業種の中で最も高くなっています。

卸小売業 「対面」（67%）はサービス業に次いで高く、他方「電話」（47%）、「SNS」（0%）は4業種の中で最も低くなっています。



サービス業 「対面」(78%)と「SNS」(11%)は4業種の中で最も高く、他方「メール」(0%)は4業種の中で最も低くなっています。

カスハラのかきかけとなった「具体的な理由」

前号で、「カスハラを受けた33%の企業の方に、かきかけとなった具体的な理由をどのように認識しているか」を聞きました。

「商品やサービスのミス」(48%)がトップで、以下「顧客の勘違い」(45%)、「従業員の接客態度」(24%)、「単なるいやがらせ」(13%)、「商品の欠陥」(11%)が2ケタとなり、「カスハラか不明・分からない」が(11%)となりました。

従業員規模でみると、30人未満は30人以上より「商品の欠陥」が9ポイント高く14%、「システムの不備・故障」が6ポイント高く6%です。逆に30人以上は「商品やサービスのミス」が24ポイント高く65%、「従業員の接客態度」が15ポイント高く35%、「顧客の勘違い」が14ポイント高く55%となっています。

業種別

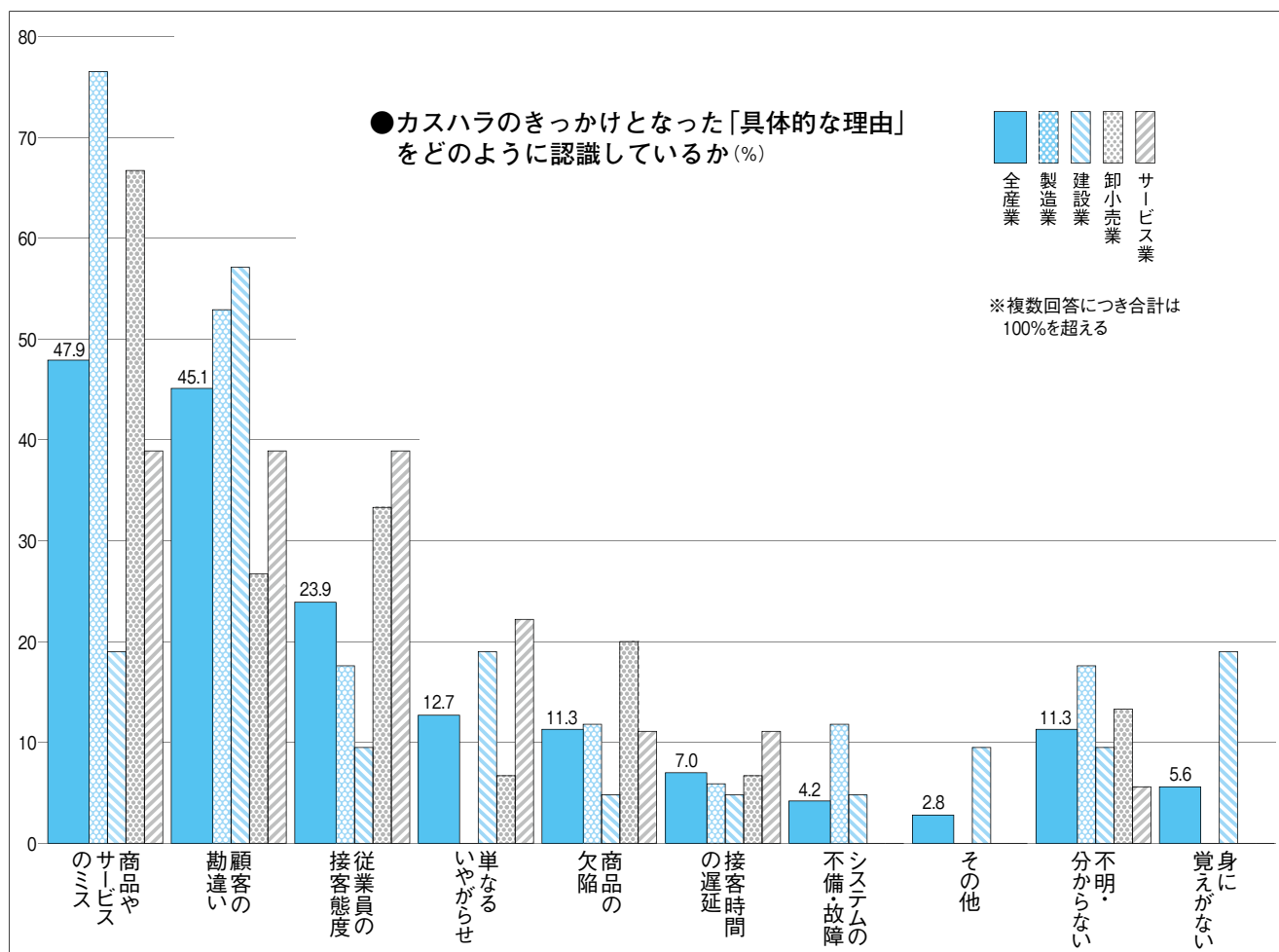
製造業 「商品やサービスのミス」(77%)、「システムの不備・故障」(12%)は4業種の中で最も高く、他方「単なるいやがらせ」(0%)は4業種の中で最も低くなっています。

建設業 「顧客の勘違い」(57%)は4業種の中で最も高く、他方「商品やサービスのミス」(19%)、「従業員の接客態度」(10%)、「接客時間の遅延」と「商品の欠陥」がともに(5%)は4業種の中で最も低くなっています。

卸小売業 「商品の欠陥」(20%)は4業種の中で最も高く、他方「顧客の勘違い」(27%)、「システムの不備・故障」(0%)は4業種の中で最も低くなっています。

サービス業 「従業員の接客態度」(39%)、「単なるいやがらせ」(22%)、「接客時間の遅延」(11%)は4業種の中で最も高くなっています。

◇次号は「カスハラで顧客からの迷惑行為の内容」と「カスハラ対応のマニュアルなどの制定内容」を予定





“シナジー効果”で、 働きやすい環境整備

信州蕎麦わきゅう
代表 依田 和久さん

●開業までの経緯についてお聞きします…

私は大学を卒業後、全国の中古車・新古車の販売情報をインターネットで提供する企業に入社して、主として長野市内で営業を担当していました。勤務するかたわら、いつかは自分で独立して事業を行いたいと思い続け、脱サラして事業を行うにはどのような業種が良いのかを考えていたのですが、以前から興味があった飲食店の起業を決断し、8年間勤めた会社を辞めました。

飲食業の中でそば店を始めたのは、「信州そば」は長野の名物なので、観光客を取り込みやすいのではないかと思ったからです。そんなとき、千曲市の自宅の近くにあった有名そば店が廃業をすることを知り、店主に直談判をして居抜きで店舗を購入させていただきました。その店の「味」も継承したいと考えていましたのでレシピを教えていただき、店名をそのまま名乗っても良いとの許可もいただきました。有名店復活で地域貢献をしたかったのです。しかし、それまでのそば打ちの経験はわずかでしたので思案していたところ、そば粉の仕入れ先の紹介で、川中島町にある「たなぼた庵」さんでしばらく修業をさせていただけることになりました。ここでさまざまな経験をすることができ、2019(令和元)年に母親と共同経営で「信州蕎麦わきゅう」を開業しました。旧店主に店名をそのまま名乗っても良いとの許可をいただいていたのですが、味の継承はできなかったため新しい店名にしました。

店名は、自分の名前が“和久(かずひさ)”なの

でそこから命名。開業の翌年度には母が退き、私が事業主になりました。さらに、将来的に従業員を雇用する際に安定した経営を維持するために法人化を検討し、2023(令和5)年に、「(株)しなふー」を設立。社名の由来は、ズバリ“信濃の風土”です。将来的には飲食業界と何かを合わせて、その“シナジー効果”で事業展開したいという意味も込めています。

●“こだわり”についてお聞かせください…

奇をてらったことはせず、そば屋の「王道」、そばと天ぷらを主体にしたメニュー構成にしています。特に、天ぷらを食べていただきたいのとサラリーマンのお腹をいっぱいにしたくて、盛りを多めにして価格は抑えています。盛りの多さと価格設定は、修業させていただいた「たなぼた庵」さんを意識しています。

平日は地元のお客さまが中心で、前店舗からの常連客に加え、新たな常連客に支えていただいています。土日や祝日には県内外の観光客にも来ていただいています。

そばは平日約100食分、休日150食分を用意して、終わり次第、店を閉めることにしています。しかし、閉店間際に来店したお客さまから「時間がかかっても良いから、ぜひ食べたい。何とかできないか。」と言ってもらったときもあり、急遽用意することもあります。特に宣伝はしていませんが、口コミで評判になりおかげさまで来店客が増えています。特に、味が評価されるのはとても嬉しいですね。私自身、モチベーションが高まります。開店して6年間、値上げはしてこなかったのですが、さまざまなコストが上がり心苦しいのですが、11月から値上げすることにしました。

開業した翌年に新型コロナウイルスが蔓延して、飲食業界全体がダメージを受けましたが、当店は前年の実績がなかったため、当時、あまり打撃を受けた印象がありませんでした。昨年

春にコロナ禍が収まり、客足が増えて売上も上がった今になって、あのときは影響を受けていたのかな？と感じています。当時は、お弁当などのテイクアウトもやりましたが、すぐにやめました。さらに、そばの通販も考えましたが、それほど利益も得られないだろうし、お店も忙しくなってきたので構想だけで終わりました。

●今後の方針や夢をお聞きます…

会社として安定させたいと思っています。そのためには、社名に込めた“シナジー”によりそば店だけではなく、長野の美味しいものをベースとして、さらに喜んでもらえるような事業を広めていきたい構想があります。多角化というほどのものではありませんが、今後、コロナ禍のようなことが起こった際に、飲食業がダメになっても他の事業で売上を伸ばして従業員の雇用を守って

いくことができればいいと思っています。

さらに、「託児所」をつくり、飲食店の従業員が子どもを預けて、安心して働ける環境を整備していくことも夢です。



打ち立てのそば



外観



店内風景



もりそば

●事業の概要

創 業 2019(令和元)年
代表者 依田和久
従業員 8名(女8名)
業 務 飲食業
事業所 千曲市稲荷山996-1

●沿革

2019(令和1年) 依田光子(母)と依田和久で、信州蕎麦わきゅうを開業
2021(令和3年) 依田和久が事業主を承継
2023(令和5年) (株)しなふーを設立

北信濃 明治時代の風景

(32) 篠ノ井小松原

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



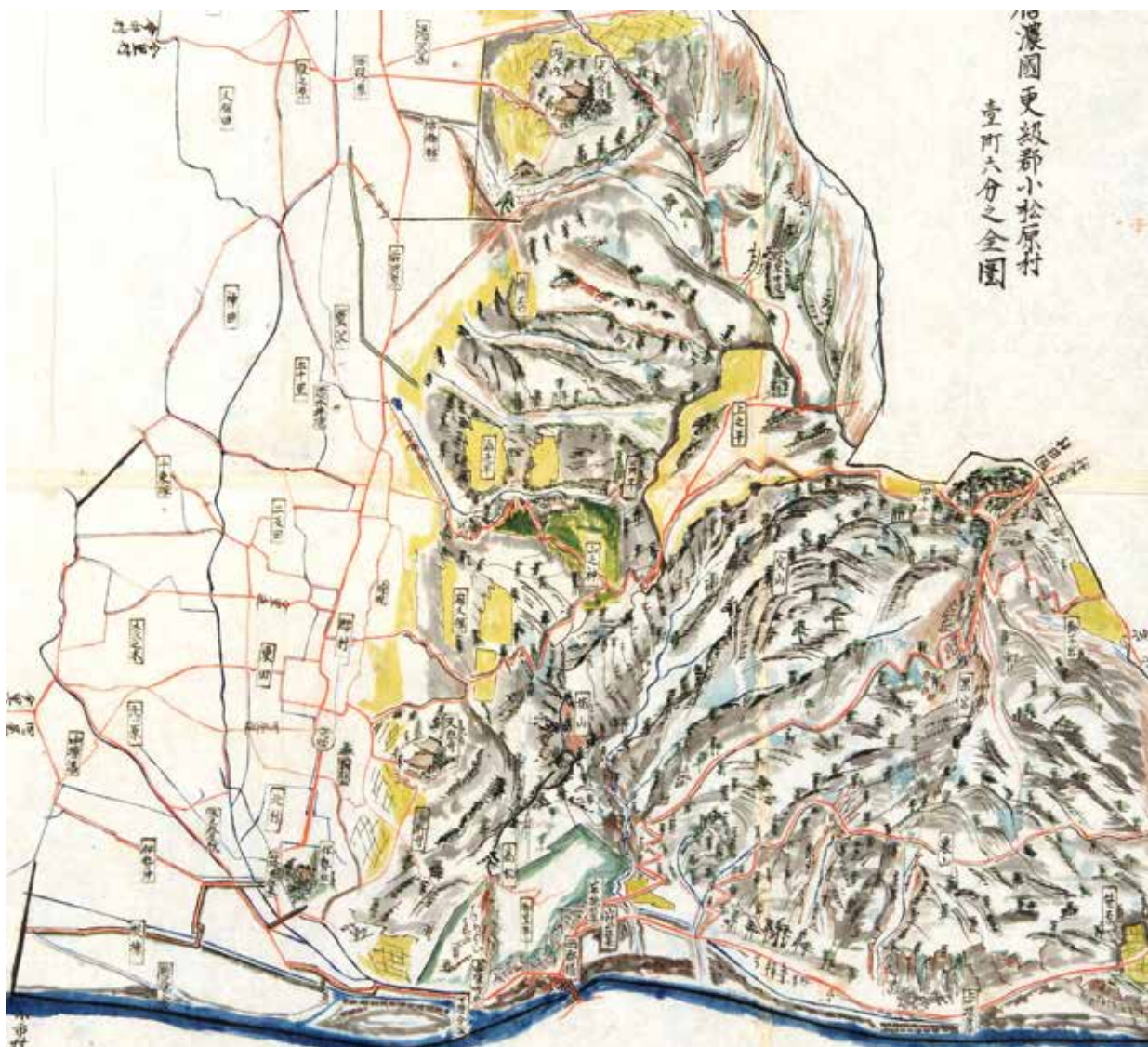
この図は、明治10年代に作られた「更級郡小松原村」の図の主要部分です。現在の長野市篠ノ井小松原です。上が南で、下が北になっています。下(北)には犀川が流れています。下の中央には明治11年(1878)に架けられた両郡橋が描かれているので、この図はそれ以後の制作であることが分かります。

この村は東側(左)が平野部で耕地が広がり、中部から西側は山間地になっています。現在はこの山地を国道19号の小松原トンネルが貫通しています。光林寺、天照寺、伊勢社などの寺社は、山裾に南北に建ち並んでいます。

犀口

この図の左下(北東)は、犀口と呼ばれる地域です。室町時代に幸若舞^{こうわかまい}という芸能がありました。その『烏帽子折^{えぼしおり}』という曲に、熊坂(信濃町)出身の盗賊熊坂長範^{うま}の手下として、善光寺南大門の右馬^{うま}の丞^{じょう}、後町の与次、犀口の七郎といった名が列記されています。この地名の並べ方は、東山道以来の古い道筋を示唆しているという説があります。

平安時代には信濃の国府(松本)と越後の国府(上越)を結ぶ官道がありました。その道は善光寺平の西端を北上して犀口付近で犀川を渡り、善光寺を経由して上越に通じていたと考えられます。



更級郡小松原村の図(長野県立歴史館蔵)

篠ノ井小松原地区は、古代から交通の要地でした。

小市道

この図には、村を南北に貫く道が描かれています。「前河原」から「腰村」の脇を通り、「元標」から「伊勢社」方面に通じています。「伊勢社」の脇には「篠ノ井往来」と書かれています。これは篠ノ井追分と、犀川の小市の渡しを結んでいる小市道です。篠ノ井追分は、江戸方面に通じる北国街道と、上方方面に通じる善光寺街道(北国西街道)の分岐点です。もし犀川が増水して北国街道の丹波島の渡しが渡れない場合は、旅人は篠ノ井追分から小市道を通して小市の渡しを渡るのが普通でした。丹波島の渡しより小市の渡しの方が渡り易かったのです。小林一茶や菅江真澄など、この道を通ったことを紀行文に残した旅人は少なくありません。

小市の渡しと両郡橋

犀川の小市の渡しは、「伊勢社」の北側にありました。渡し賃は10文で、出水時は22文であったと記録されています。地元の村々は村ごとに一括して舟賃を収めてあるので、村民は無賃で渡ることができました。

この渡しも、明治11年に木造の両郡橋が架けられて、廃止になりました。『長野県町村誌』によれば、対岸の塩生村はこの橋の規模を、橋長20間、幅2間半と記していますが、小松原村は橋長27間、幅2間と記していて、食い違っています。両郡橋の名は、更級郡と水内郡(明治12年から上水内郡)の間にあることから名付けられました。下流に小市橋が架けられたのは昭和10年(1935)で、当初は吊り橋でした。

犀口三堰

小松原村には、川中島平を潤している犀口^{せき}三堰と呼ばれる3つの用水の、犀川からの取り入れ口がありました。岡田堰(上堰)、今井堰(中堰)、戸部堰(下堰)の三堰で、図の右下の「上中堰分派」は、上堰と中堰の取り入れ口です。上中堰は両郡橋付近を繰^{くり}穴^{あな}(トンネル)で通っていて、図の「両郡橋」下流にあ



小松原の小松原伊勢社。小松原大火で焼失し、昭和11年に再建された

る「上中堰吹出」は、繰穴の出口でしょう。その近くに下堰の取り入れ口「下堰分派」があります。

この三堰は、江戸時代の初めに家康の六男松平忠輝が北信濃を支配していた時、松代城代だった花井吉成・義雄父子が開削したと伝えられています。この父子の功績をたたえて、昭和44年(1969)に中尾山に花井神社が創建されました。

善光寺地震の大洪水

弘化4年(1847)3月24日に起こったマグニチュード7.4の善光寺地震では、長野市信更町の岩倉山(虚空蔵山)が崩壊して犀川を堰き止めました。堰き止められてできた天然ダムの決壊による大洪水を想定した松代藩は、犀川の平野部への出口に当たる小松原村に役人たちを派遣し、人夫を動員して堤防の修築を急ぎました。大洪水を予感した遠方の村々からも人々が自主的に集まって、工事に加わりました。4月13日になって果たして天然ダムが決壊し、川中島平は大洪水となりました。築いた堤防は全く役に立たず、小松原村の平地は一面に河原のようになってしまいました。

小松原大火

大正15年(1926)4月20日、小松原の南部で発生した火災は強風にあおられてたちまち北部に燃え広がり、154戸を焼く大火となりました。村社の小松原伊勢社も焼失しましたが、幸い御神体は救出することができました。

12月号は「青木島」の予定です。

◆新NISAを「利用していない理由」の上位3項目

「難しそうに感じる」「元本割れのリスクがある」「余裕資産がない」

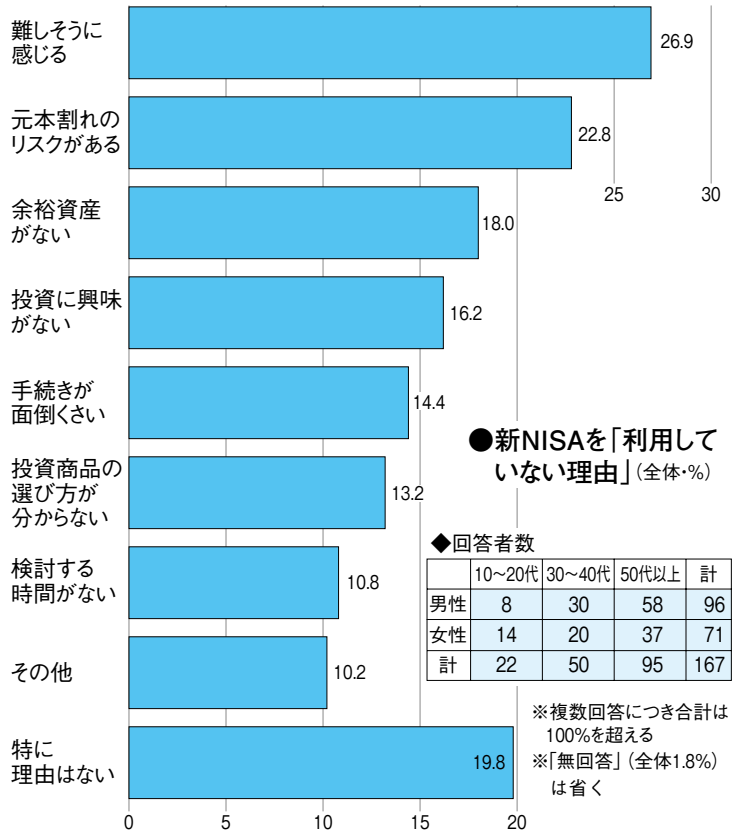
「新NISAを利用していない方に、その理由」を聞きました。

全体の1～3位を見ると、「難しそうに感じる」27%、「元本割れのリスクがある」23%、「余裕資産がない」18%となっています。

男女別で見ると、男性は「元本割れのリスクがある」、「難しそうに感じる」、「投資に興味がない」になり、女性は全体と同様になりました。

同様に世代別で見ると、10～20代の1位は全体と同様で、2～3位は「余裕資産がない」、「投資商品の選び方が分からない」、30～40代の1～2位は全体と同様で、3位に「余裕資産がない」と「検討する時間がない」、50代以上は、「元本割れのリスクがある」「投資に興味がない」、「難しそうに感じる」の順になりました。

〈当金庫・2024年9月調査〉



●みなさまの税務相談のご案内 [12月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
12月 3日	火 若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	12月17日	火 須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店
6日	金 本店営業部 (権堂支店・善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)	18日	水 中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
9日	月 篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	19日	木 大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
11日	水 石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	24日	火 本店営業部	古里支店 (吉田支店)
12日	木 長池支店 (大豆島支店)		25日	水 本 部	
13日	金 稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	27日	金 本 部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <https://www.nagano-shinkin.jp/>

